

新都市社会技術融合創造研究会 令和4年度 新規研究テーマ

別紙

NO.	テーマ(項目)	背景・課題	研究内容	期待する成果・効果
1	鋼橋の点検並びに損傷の調査手法の高度化に関する研究	橋梁点検においては、効率化を目的とし、UAV等の点検支援技術が活用されるようになってきた。しかし、検出できる損傷の限界や、非GNSS環境下の箱桁内部、狭小な空間での点検精度の確保等の課題がある。 また、鋼橋の点検において、例えばき裂が疑われる損傷が発見された際、損傷箇所からき裂を想定し、適切な位置に磁石を当てて調査する必要があるが、技術者の経験に頼っているのが現状となっており、管理者も報告を受けた際に、適切な調査が実施されたのか判断が出来ていない状況となっている。	①鋼橋におけるUAV等の点検支援技術を活用した点検手法について、可能な技術レベルを明確にし、橋梁構造や点検箇所に相応しい点検手法の調査研究を行う。 ②また、鋼橋の点検により判明した損傷の適切な調査手法や、その精度向上のための手法について調査研究を行う。 上記の研究を踏まえ、点検箇所や点検内容に応じた効率的な点検手法や、損傷状況に応じた調査手法の手引きを取りまとめる。 ①、②の研究については、どちらか一方の研究でも応募可能とする。	・点検及び調査技術の向上(必要な精度の確保) ・点検及び調査の適切な実施に資する手引き等の作成

◆自由研究テーマ(研究テーマのみを指定する研究テーマ)

令和4年度は「自由研究テーマ」の募集はありません。